

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス 四季		公表日 令和 8 年 2 月 25 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	児童の特性や状態によりその都度適切な環境を考えながら配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の掃除を行い施設内や施設周辺に危険力が無いかの確認を行っている。	適宜児童とも相談をしながら模様替えを行い空間づくりを行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	児童が不安定な時や落ち着かない時には静養室でゆっくりと過ごしたり、話を聞くことで気分転換ができるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	朝礼や職員会議、ケース会議の中で話し合い、共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	意見を受けて会議を行い、次年度に改善できるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	必要な場面での面談を行い、必要なことや困っていることについては改善ができるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	外部評価は行っていないが法人の内部監査を定期的に行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月の法人の研修を行っている。また必要な知識やスキル向上のため外部の研修も受講している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス 四季		公表日 令和 8 年 2 月 25 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	モニタリングや日常的な対応、面談等とおしてアセスメントを行い放課後等デイサービス計画に反映している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	他の職員と必要なことを話し合いながら検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	日常の業務の中でも児童ひとりひとりの計画が把握ができるようにしている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6	法人のアセスメントシートを使用し、発達検査の結果等はご家族からいただき支援に役立てている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	各項目を検討しながら作成を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	児童発達支援管理責任者のみの意見だけではなく、会議や日ごろの支援、児童やご家族の意見も取り入れながら活動プログラムを立案している。	児童の特性や身体状況に応じた配慮を行いながらそれぞれの児童が楽しむことができるようにしていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	固定化しないように毎月の職員会議の中で話し合い、工夫をしている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	児童の特性や好きなこと、苦手なことを把握しながら作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	担当業務や行事をあらかじめ決めておき、朝礼や午後からの引継ぎで確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	その日に起きたことについては記録を行い、朝礼の中で再検討を行い、支援に反映している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	その日に起きたことについては記録を行い、朝礼の中で再検討を行い、支援に反映している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的に達成状況を確認し見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	多様な遊びや利用の中で自分でできることは自分で行う、支援を受けながら行うことを基本としている。児童館や地域の公園に行く中で地域の児童とも交流を行っている。活動を行う中では児童の間で目標を決めたり、行	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	活動の際の行先を決めたり、やりたいことを記載できるように「おねがいボックス」を設置し、意見を反映している。活動の中では選択肢がいくつかあるように工夫を行っている。	日頃から信頼関係を築き、必要時に面談もを行いながら自分の意見が言えるように配慮していきたい。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス 四季		公表日	令和 8 年 2 月 25 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	学校や幼稚園、必要があれば医療との連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	送迎の際や電話での連絡、担当者会議の際に情報の共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	担当者会議の際や電話での連絡を通じて情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	会議に参加し、情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	現在は必要に応じて利用していく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	児童館の利用の際や公園に行った際に地域の児童との交流を行っている。	放課後児童クラブや地域の行事には参加することができていないため。機会があれば参加を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	子ども支援部会に参加し研修や情報共有をしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎の際や必要に応じて電話での連絡や相談を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	利用開始時や保護者会の際、問い合わせがあった際に対応を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	日頃のコミュニケーションやモニタリングの際に確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	年1回の保護者会を行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月の通信の発行やSNSを通じて発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	月に1回事業所周辺のゴミ拾いを行っている。ボランティアの受け入れを行っている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス 四季		公表日 令和 8 年 2 月 25 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	確認し適切に対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	SNSや広報誌をとおして周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを作成し、職員間で対策を考え共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	毎月内部研修やチェック表を用いて確認を行っている。	日ごろの発言や行動が相手にとって不快ではないか、虐待と受け取られることは無いかを確認している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	現在は該当する児童はいないが、日々の支援の中で身体拘束にあたる可能性がないか委員会の中で話し合っている		